

五月二十一日 山田浩二牧場

小学生を受入 牛とのふれあいに 興味津々

北広島町の山田浩二牧場は、北広島町立大朝小学校の児童十一名と先生二名の牧場体験を受け入れ、同牧場の小野正行さんは酪農業を通じて児童たちとの交流を深められた。

児童は、日頃は出来ない乳牛への乾草給与を行う等して乳牛とふれあい、乾草を手にした児童は「これを牛さんが食べるの？」と不思議そうしながらも牛に近寄り、中には乾草を与える際、牛が舌を伸ばして児童の手から乾草を取ろうとし、「わっ」と声を上げて驚いたものの、しばらくすると臆することなく楽しそうに乾草を与える姿は微笑ましかった。

牛とのふれあい後、児童から「乳牛のオスとメスの違いは？」「牛は何キロぐらいあるの？」「子供と大人では色(模様)は変わるの？」等と色々な質問が飛び交う中、小野さんは優しく答えられ、児童たちは納得顔だった。



▲児童からの質問に答える小野正行さん



東部管内酪農青年部

五月二日 東部事業所

地域を越えた交流に意欲

■研修会担当に茨木栄治氏 ■勉強会担当に松本喜幸氏

東部管内酪農青年部(部長山本雅陳)は総会を開催し、部員十四名が出席した。平成二十五年度決算、平成二十六年年度予算案は何れも承認され、研修会担当に茨木栄治氏、勉強会担当に松本喜幸氏が選ばれた。

また、平成二十六年年度の活動計画として、昨年は西部地域青年部と行った交流会時に「次回は備北・南部地域の青年部とも合同で交流会を行いたい」との意見を受けて、今年度の交流会に向けて調整することとした。

総会での意見では「E.T和牛が高く売れる事から受精卵移植を含めた繁殖管理の勉強を行いたい」、「広略の役員を青年部から選出できないか？」との頼もしい提案意見や、「らくのうだより」に掲載の飼料イネ収穫機の取得については賛否両論の意見があったが、理事会決定事項でもあり「失敗しないように進めてもらいたい」、「組合員への説明を早めに行って欲しい」との要望があった。



総会後は懇親会が行われ、親睦を深められた。

ときめき隊

四月十七日 本所会議室

花より♪団子より♪ときめき(*^o^*)♪ 「酪農家あたりまえ体操」を作ろう!



酪農女性で作る「ときめき隊」(代表 小川香奈)は、「春☆花☆ときめく♪の巻」と題してお花見会を開催し、初参加の2名を含む11名が参加した。桜の見えない室内ではあったが、ピンク色や明るい色の装いで自分たちが“花”になり、お花見気分を盛り上げた。

はじめに酪農情勢について鈴木道弘専務(広略)から説明を受けた後、昼食会に入り、6月に行われる広島県知事訪問で「酪農版あたりまえ体操を披露したい」として、メロディに合わせてフレーズを考えた。

今後の活動では、農繁期を過ぎた11月上旬に「南部地域の視察打ち合せ会」の開催を決定し、半年間の別れを惜しんで花見会を終了した。